

(家庭数配布)

平成30年5月7日 全校朝会を聞いて

平成30年5月28日

立川市立第九小学校

校長 小林 邦子

5月25日(金)に、にこジャンの取組が終わりました。5月上旬に朝会でも話しましたが、子供たちは学級で心を合わせて取り組んでいました。練習する中で、協力したり高め合ったり、大事なことをたくさん経験できたと思います。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「励まし合い高め合って」

ゴールデンウイークが終わり、学校が始まりました。5月は、草木が青々とし、さわやかな季節です。よく遊び、よく学んで、にこジャンにもたくさん取り組んでほしいと思います。なわとびは、一人でも大勢でも楽しく記録を伸ばし、体力やリズム感を高められる運動です。繰り返し練習すると、長く跳べるコツが身に付いてきます。

今月の終わりに体力テストを実施しますが、50メートル走やソフトボール投げなど記録を取り始めていますね。6年生は、4月の学校公開のときにシャトルランに取り組んでいました。お家の人たちやペアの友達が見守る中、互いに競い合い、粘り強く自分の記録に挑戦する姿が立派でした。

ピョンチャンオリンピックのスピードスケート女子500mで金メダルを取った小平奈緒選手は、ライバルのイサンファ選手から力ももらって次のステップに何度も進んできた、と言っています。また、イ選手は、小平選手について、特別な友人。ライバルであることが私の記録を伸ばしてきた、と言っています。

一人では越えられない壁も、友達と励まし合い、高め合う中で、越えることができます。なわとびも、そのほかの種目も、自分で達成したい目標を立ててみましょう。大勢の友達の頑張る姿を見ながら、自分の記録を伸ばしてほしいと思います。

- 1 にこジャン、体力測定などいろいろな体を動かす行事があります。私は、これらのことに決して諦めないで取り組みたいです。
- 2 小平選手がライバルと共に頑張り、協力し、戦って強くなったということで、ライバルという存在が自分を高めてくれる。さらに、自分という存在がライバルを高める。協力とは違うけど、この関係は素晴らしいと思った。
- 3 学校が始まりました。僕たちのクラスの学級目標にもあるように、学校の方の気持ちに切り替えようと思います。親に見られながらのシャトルランは緊張しました。「いい記録出さなきゃ」と考えました。
- 4 私は、昨年にこジャンで優勝しました。その時は、530回と奇跡が起きました。今年、ライバルなのは、昨年の自分たちです。もちろん他のクラスも強力なライバルです。昨年の530回を越して、胸を張って優勝したよ！と言えるように頑張ります。
- 5 私は6年生なので、下級生の計測をやる方でもあります。計測の仕方を間違えないように、素早く自分の能力も上げていきたいです。
- 6 私もライバルを作って、自分のライバルに勝てるように頑張りたい、と思いました。なので、私は勉強のライバルを作ろうと思いました。理由は、勉強のライバルを作ることによって勉強に励み、ライバルに勝った喜びを知り、頭が良くなるからです。
- 7 私はあまり縄跳びが好きじゃないから、練習をたくさんしようと思った。また、にこジャンで昔の自分に勝てるように頑張りたいと思います。そして、また大縄で一位を取りたいです。
- 8 私はライバルを作りたいです。なぜかという、ライバルは自分を良く、強くする存在だからです。私は体操をやっているので、頑張りたいです。
- 9 僕は、いつも学校疲れるなあと思うのですが、学校に来てみると意外に楽しいと思っています。6年生最後なので、にこジャンを頑張りたいです。前回優勝だったので、また優勝したいです。
- 10 小平選手は、ライバルがいて次のステップに進めたと言っていたところが、心に残った。私も小平選手みたいに、諦めずに頑張ろうと思った。
- 11 バスケットでライバルみたいな存在の人がいます。その人は、とってもバスケットが上手で、リバウンドが取れて、ドリブルが速くて、シュートがとて入ります。だから、上手な人の動きを真似して、ライバルに近づけるように頑張りたいです。
- 12 ライバルが自分を高めてくれる。自分がライバルを高めていく。その負けたくないという気持ちが、勉強だって、スポーツだって、大切なんだなあと思いました。